



大杖 正彦 議員

集落活性化への支援を考えては

町長

地方創生の事業で支援したい

【大杖】平成27年度決算は経営健全化基準を満たし6億円を超える黒字となっている。自治体は利益追求の団体でなく、住民の福祉向上や町の発展と活性化対策への投資も重要である。

本町はエコトラック事業推進に力を入れていくが、その一環として町内の農産物や加工品・手料理そして、歴史・史跡を観光素材として生かせる休憩所・カフェやゲストハウスの



サイクルイベントで町内の魅力をアピール

運営に取り組みもうとする集落の支援を考えてはどうか。

【町長】集落や地域自主組織でそのような取り組みをしたいという声があれば、地方創生事業のなかに「新たな価値創造事業」という助成事業を用意している。同時に「儲ける力創造事業」では、自然歴史体験や飲食物などを提供するうえで意識改革や商品磨きの取り組みを行っているので利用してもらいたい。

投票所の合理化を

選挙管理委員長

現行の制度を継続する

【大杖】選挙ポスター掲示板の場所と数、地域住民の人口など、パランス的に格差はないか。

また、選挙管理運営費の費用対効果を考えるとき、投票所の合理化の可能性と投票率を上げる対策として、期日前投票所を日常多くの町民が足を運ぶスーパーやコンビニなどに設置する考えはないか。

【選挙管理委員長】選挙ポスター掲示板は、公職選挙法に基づき選挙区の地勢や有権者数などの基準に従っている。投票区は平成20年に見直しを行なった。期日前投票の普及、

デマンドバスの開始などもあるので、今後の状況も見ながら可能性を検討する。

期日前投票所は本庁と各支所の計3カ所と設置しているが、二重投票を防ぐための費用や人員などの点で難しい。



投票率向上の対策を考える

第6回 臨時会 8月10日

8月10日の臨時会では、中原スキーセンターの屋根改修工事の請負契約や一般会計補正予算など計3件を全会一致で可決した。

一般会計補正予算では、ふるさと応援基金の追加や野生鳥獣被害防止策が盛り込まれている。

一般会計補正予算

高島屋と共同事業

目標5000万円

大山開山1300年祭PRのために、高島屋と共同してふるさと納税とクラウドファンディングに取り組み。

クラウドファンディングでは、大山寺にある公衆トイレの改修のため、5000万円を目標に来年3月31日まで募集を行う。

質疑

【大杖議員】非常にいいアイデアだと思うが、具体的に対象となるトイレはどこか。

【総務課長】南光河原駐車場や県が設置したもの、県と協議をして進めたい。



利用者の多い南光河原のトイレ



むきばんだ

【クラウドファンディングとは】不特定多数の人がインターネットを経由して他の人や組織に資金の提供などを行うこと。

イノシシ被害対策

侵入防止柵2集落分を追加

国の予算枠が県に残っていたので、希望があった2集落に対し、電気柵一式の購入費187万9000円を予算計上するもの。

質疑

【米本議員】対象となる集落はもう決まっているか。

【農林水産課長】希望する集落がちょうど2つあった。

【米本議員】そのほかの予算は残っていないか。

【農林水産課長】今年度国の事業分はもうないが、3分の1の受益者負担がある県の事業予算はまだ残っている。



イノシシの侵入を防ぐ電気柵